

品目	県名	作柄及び概況	販売における現状と今後の見通し
トルコギキョウ	大分	10月の長雨・日照不足に伴う出荷遅れが予想される。全体の約6割が1月・2月の出荷になる見込み。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">現 状</div> <p>各産地10月の天候不順の影響で生育状況が悪く数量が少なく、上位等級比率も低くなっており、厳しい出荷状況。輸入に関しては中旬から徐々に増加。販売面では他品目も少ないことから中下位等級は葬儀需要、上位等級はブライダル需要、小売り店中心の販売。数量少なく安定した価格での取り引きとなっている。</p>
	沖縄	12月用は優品・良品が中心であったが、1月から次第に秀品の出荷割合が高まる見込み。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">見通し</div> <p>大田花き 遅れも目立っており、年を明けてからも比較的品物は残ってしまう状況。輸入の台湾産も中旬以降本格出荷となる見込み。販売面では引き続き葬儀需要主体の販売、相場は他品目の出方にもよるが概ね安定した値動きとなる見込み。</p> <p>FAJ 年明け以降も順調な相場が見込まれる。引き続き関東・九州主体の入荷。</p> <p>東日本板橋花き 茨城県・栃木県・熊本県・高知県中心の入荷。各産地、年末予定分が遅れ1月にも出荷される。需要が少なく供給が増える。</p> <p>世田谷花き 台湾・高知・熊本などからの入荷。業務中心の動き。</p> <p>東京フラワーポート 生育の回復がフルでなく各産地少ない見込み。</p>
	茨城	・平年並み	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">現 状</div> <p>国産品は10月の天候不順の影響で入荷量は昨年と比べ少なく、単価も高単価で推移。特に赤SPなど少なく、高値が続いている。輸入品は潤沢感あり、安値で推移。</p>
	群馬	11月の出荷量は10月の日照不足の影響で減少したが、12月に入りほぼ回復してきた。冬季休眠する産地の出荷量は減るが、群馬県全体では平年並の出荷量となる見込み。現状病害虫等の問題は特に見られない。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">見通し</div> <p>大田花き 大きな需要も無く、通常の業務対応中心の動き。輸入品は12月と比べ、赤系などは大きく減少する。</p> <p>FAJ 年明け成人式需要で若干動きあるものの週末ブライダル需要主体は変わらず。数量横ばい。</p>
	大分	1月出荷については1月で一番数量が減少する月。栽培状況として朝晩の冷え込みが厳しく暖房にてコントロールはしているものの、だらだらとした出荷になる見込み。	<p>東日本板橋花き 年末年始の天候次第にもよるが、ここ最近燃料費の重油価格高騰で、採算が合わないとなると無理して加温せず生産出荷を一時止める生産者が出てくる恐れがあり3月まで入荷量に影響が出る心配がある。</p> <p>世田谷花き 入荷量は少ない見込み。相場は保合。</p> <p>東京フラワーポート 西南産地中心になるが天候安定せずやや少ない見込み。</p>

品目	県名	作柄及び概況	販売における現状と今後の見通し
ストック	福島	11月末の降雪により数棟ハウス倒壊(全壊・半壊)しており、出荷量は平年を下回る見込み。	<div data-bbox="883 313 984 351" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">現 状</div> 出荷量の少なかった昨年と比べると各産地順調な生育となっており、堅調な価格帯で取引された。下旬に入ると数量が増え、引き合いも強まり高値で推移。
	千葉	①生育の遅れは見られるが、ほぼ平年並。 ②西岬共選はアイアン・シリーズが中心。その他はスプレーのカルテット・シリーズが中心。 ③西岬共選は12月12日、神戸共選は12月14日に、ストックの出荷査定会を行った。	<div data-bbox="883 401 984 438" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">見通し</div> 大田花き 各産地天候状況にもよるが、安定的な出荷が続く。価格に関してはスプレー、スタンダードともに大きな変動なく、安定的に推移する。 FAJ 千葉など。出荷数量まとも安定した入荷が続く見込み。数量は平年並みを予定。
			世田谷花き ST・SP系共に千葉県産が主力となる。相場は一段落。 東京フラワー ホート 遅れ気味の千葉産が増加してくる。